

ベストミックス・インベストメント News Letter

2014年2月27日号

◇ スチュワードシップと FSI 社のワールドワイド投資戦略

今現在、日本における資産運用業界において最新の話題の一つに、「スチュワードシップ」があります。まだまだ日本においてはなじみの薄い概念ではありますが、今後間をおかず、資産運用業界のさまざまな状況において無視することのできない重要な概念になってくる可能性があります。

本稿では、まず初めにスチュワードシップの概略をご紹介し、その次にスチュワードシップの理念を投資方針に取り込んだ運用商品であるファースト・ステート・インベストメンツ社(FSI 社)の「ワールドワイド株式運用戦略」について、具体例を交えながらご紹介することとし、読者の皆様に同社の運用商品を通じてスチュワードシップについての理解を深めていただければ、と考えております。また、最後に、弊社のスチュワードシップに対する考え方や対応方針についてもご説明したいと思います。

1. スチュワードシップとは

スチュワードシップとは何でしょうか。まず、スチュワードシップについての理解を深める上では、3つの概念をきちんと押さえておく必要があります。それらは、「スチュワードシップ」、「スチュワードシップ責任」、及び「スチュワードシップ・コード」の3つです。以下に、解り易く簡単に説明します。

「スチュワードシップ」→「責任ある機関投資家」とされます。

「スチュワードシップ責任」→機関投資家が果たすべき責任のこと。

「スチュワードシップ・コード」→スチュワードシップ責任を果たすための原則。

スチュワードシップ責任の具体的な中身は、「機関投資家が、投資先企業やその業界環境に関する深い理解に基づいた建設的な「目的を持った対話(エンゲージメント)」を通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、顧客・受益者の中長期的な投資リターンの拡大を図る責任」ということです。

当資料をご希望の方は、メールにてお問い合わせください。

メールアドレス：

bestmix@bestmixinvestment.com